

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E142J023		西洋美術史 (Western Art History)							対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態							
選択	2	3	教育学部	後期	火2	日本語	英語	単独							
担当教員	氏名 荻野 哉														
	E-mail 内線														
授業の概要	美術には、単に美しい世界が表現されているだけではなく、さまざまなメッセージや明確な意図がこめられています。本科目ではこの問題について、古代～近代の西洋美術の作品を中心に、社会的・文化的背景にも注目しながら考察します。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1	西洋美術史の大きな流れを説明できる。							○						○	
目標2	西洋美術の作品の主題や造形について、自分の見方・感じ方を表現できる。							○	○						
目標3	西洋美術の作品や芸術家の思想が社会にもたらした意義や文化的価値について、説明できる。							○	○						
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)								4	3				3		
授業の内容															
1	イントロダクション：「西洋美術」をめぐって														
2	美術(史)とは何か														
3	ギリシア美術														
4	ローマ美術														
5	中世のキリスト教美術														
6	ルネサンス														
7	《モナ・リザ》をめぐって														
8	肖像画														
9	フランスの美術(館)														
10	歴史画														
11	印象派														
12	これまでの復習、および期末レポートの説明														
13	宗教改革とネーデルラントの美術														
14	風俗画														
15	風景画、およびまとめ														
ラーニングシートニングブック	A:知識の定着・確認	○	コメントシート(授業中に記入)と小レポート(課題として作成)を、それぞれ複数回提出してもらいます。				工夫その他の	期末レポートを作成する際の注意事項について、資料を配布のうえ説明します。Moodleも活用する予定です。							
	B:意見の表現・交換	○													
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	教科書・参考書や配布資料を読み、予習する(10h)。西洋美術をめぐる問題を見つけ、分析する(10h)。													
	事後学修	事後学修 教科書・参考書や配布資料を用いて復習する(10h)。講義で学んだことを活かし、小レポート・期末レポートの完成度を高める(15h)。													
	想定時間合計	45													
教科書	木村泰司『名画の言い分』ちくま文庫、2011年、ISBN9784480428288														
参考書	神林恒道・新聞伸也(編)『西洋美術101鑑賞ガイドブック』三元社、2008年、ISBN9784883032297														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	第1回の小レポート		20%		○	○							
	第2回の小レポート		20%	○	○	○							
	期末レポート		60%	○	○	○							
注意事項	西洋美術にかぎらず、さまざまな分野の芸術（アート）への関心を深めてください。												
備考													
リンク													
	URL												